

事務事業名	介護基盤緊急整備事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
政策名	総合計画体系 (Ⅲ) 地域で支えあう暮らしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	高齢者福祉G	課長名	中島 豊
施策名	(18) 高齢者福祉の充実	担当者名	糸原 幸子	電話番号 (内線)	0854-40-1042 3618
基本事業名	(053) 老人福祉施設等の充実	予算科目	会計 1 1 5 0 5 3 5 0 1 目 中事業	介護基盤緊急整備事業	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (22年度~24年度)	介護保険法上の地域密着型サービス事業所の整備を推進するため、県基金事業として創設された介護基盤緊急施設整備事業費補助金を活用し、市が選定した開設予定事業者に対し補助金を交付する。基金事業の期間は当初H21~23年度までであったが、基金残のため、24年度まで延長されることとなった。ただし、24年度の配分単価は大幅に縮小される。	地域密着型介護施設の整備を早急に進めるため、これまで国の制度であった地域介護・福祉空間整備事業交付金を、地域の実情に応じた県基金事業として期間限定で実施されるもの

(2) トータルコスト

		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体 計画
① 事業費の内訳(概要)	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円		41,812	86,523	45,000	170,436
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	0	41,812	86,523	45,000	0	170,436
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	正規職員従事人数	人		2	2		6
		延べ業務時間	時間		60	120		280
		人件費計(B)	千円	0	233	473	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	42,045	86,996	45,000	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名						最終 (目標)	
		単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)		
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	23年度実績(23年度に行った主な活動) 1. 小規模多機能型居宅介護施設整備への支援 ①サンキ・ウエルビィ小規模多機能センター(三刀屋町三刀屋)②ふかのの里(吉田町深野)2. 小規模多機能型居宅介護とちのみへのスプリンクラー整備に対する支援 24年度計画(24年度に計画している主な活動) 小規模多機能型居宅介護1施設、認知症対応型共同生活介護2施設の整備に対する補助金交付(15,000千円×3)	⑤ 活動指標							
		ア 交付件数	件	0	1	3	3		6
		イ 補助金交付金額	千円	0	41,812	86,523	45,000		170,436
		ウ							
		エ							
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	事業者が参入しやすい環境をつくり、介護施設整備を促進することで、介護サービスの質の確保を図る。	⑦ 成果指標							
		ア 地域密着型サービス受給者数	人	233	251	257	260		
		イ 地域密着型サービス事業所数	事業所	14	16	18	20		
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	高齢者生きがいを持って、いきいきと暮らす。	⑧ 上位成果指標							
		ア いきいきと暮らしている高齢者の割合	%	65.1	70.1	67.4	70		

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名						最終 (目標)	
		単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)		
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	介護サービスを必要とする要介護認定者	⑥ 対象指標							
		ア 要介護認定者数	人	2,416	2,482	2,560	2,600		
		イ							
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	高齢者生きがいを持って、いきいきと暮らす。	⑧ 上位成果指標							
		ア いきいきと暮らしている高齢者の割合	%	65.1	70.1	67.4	70		

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか? 変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
急速な高齢化に伴う要介護者の増大に対応するため、緊急的に介護の基盤整備を行う必要がある。整備を進めるに当たっては、住み慣れた地域で生活できるように地域密着型サービスの提供が求められている。	地域密着型サービスの基盤整備については、20年度までは国交付金(地域介護・福祉空間整備事業)により助成を行っていたが、21年度に国が打ち出した介護基盤緊急整備施策により、県の基金事業として金額を上乗せした助成事業が23年度までを限定として創設された。市においても22年度からこの事業を活用することとした。基金残のため、24年度まで延長されることとなった。	法人からの事業所開設の要望や、ケアマネージャー等からの意見を集約し、介護基盤整備計画を策定している。

事務事業名	介護基盤緊急整備事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 介護サービス事業所の中でも特に地域密着型サービスの整備を推進することで、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して生活できることに繋がっていく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 介護保険事業計画は市町村が策定及び事業実施しなければならないものである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 補助金事業のため、対象・意図は限定される。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ この事業により整備することとなっている施設は、地域のニーズを反映し整備計画を立てたものである。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 施設整備に対する経済的支援がなくなり、基盤整備が進まなくなる恐れがある。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業はない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 県補助金と同額を交付することとしており、市からの持ち出しはない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 補助事業者との協議等により進めていくものであるため、委託することができない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 補助事業者の選定は公募により行っている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	23年度の計画であった小規模多機能型居宅介護2事業所の整備については、公募、選定、施設整備が進み、計画どおり4月1日までに開所となった。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策